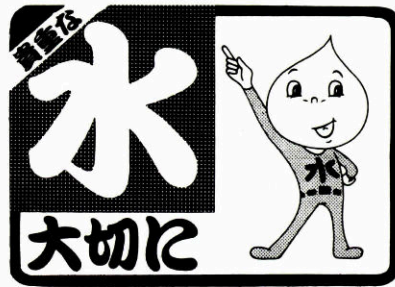


6月1日~6月7日 水道週間

皆さんに水道をよく知っていただき、これからの水道を、考えていただくための週間です。

今後更に経営ひっばくが予想されるため、止むなく昭和六十二年度から七年振りに料金改定(平均二十一・八パーセント)を実施することになりました。

これから先も、可能な限り経営の合理化と経費の節減に努力しますので、市民の皆さんのご理解とご協力をおねがいします。



昭和六十一年度下半期 水道事業の業務状況を お知らせします

昭和六十一年度下半期(十月から三月)の水道事業について公表します。

水道事業の三月末現在の業務実績は別表のとおりです。

経営面では、効率的な予算執行に努めました。一四八六万八千円の単年度純損失を生じました。

この理由は、前年度よりも水道の使用量が減少して、料金収入が大幅に減収した反面、施設の維持管理費や施設整備に伴う支払利息等が増加したためです。

当期の主要工事

工事内容	(単位千円)
○市道新屋敷八坂神社線及び祇園町2、3号線配水管布設替工事	7,050
○市道新屋敷町線配水管布設替工事	2,076
○市道祇園町4号線配水管布設替工事	3,700
○市道駅南中央線配水管布設替工事(第一工区)	4,684
○市道駅南中央線配水管布設替工事(第二工区)	3,612
○国道191号線配水管布設替工事(中山区)	12,150
○国道191号線配水管移設工事(〃)	743
○市道駅南区-3号線配水管布設替工事	1,404
○市道駅南区-4号線配水管布設替工事	730
○国道191号線配水管布設替工事(白濁1区)	1,900
○市道駅南区-2号線配水管布設替工事	600
○熊野山浄水場フェンス新設工事	534
○境川配水池水位計遠方監視化工事(No.1)	814
○湯本簡易水道浄水場滅菌機据付工事	1,300

貸借対照表 (昭和62.3.31現在) (単位千円)

借方		貸方	
資産	1,154,302	負債	32,495
固定資産	1,081,112	流動負債	11,227
有形固定資産	1,451,895	流動負債	21,268
有形固定資産減価償却累計額	△ 372,115	資本	881,181
無形固定資産	1,332	自己入金	86,153
流動資産	67,159	借入金	795,028
繰延勘定	6,031	剰余金	240,626
		剰余金	226,394
		利益剰余金	14,232
		(うち当年度純損失)	14,868
合計	1,154,302	合計	1,154,302

損益計算書 (昭和61.4.1~昭和62.3.31) (単位千円)

借方		貸方	
上水道事業費	227,585	上水道事業収益	204,025
湯本簡易水道事業費	26,316	湯本簡易水道事業収益	33,983
俵山簡易水道事業費	8,118	俵山簡易水道事業収益	9,143
		当年度純損失	14,868
合計	262,019	合計	262,019

企業債明細書 (昭和62.3.31現在) (単位千円)

区分	年度当初現在高	当年度借入金	当年度償還済額	未償還高
資金運用部	527,396	34,000	10,467	550,929
簡易保険局	615		200	415
公営企業金融公庫	213,606		6,732	206,874
市中銀行	11,700		2,000	9,700
計	753,317	34,000	19,399	767,918

固定資産、借入金明細書

有形固定資産明細書 (昭和62.3.31現在) (単位千円)

区分	現在高
土地	42,049
建物	47,858
構築物	872,799
機械器具	108,070
運搬器具	1,795
備品	3,309
定款	3,900
計	1,079,780

無形固定資産明細書 (昭和62.3.31現在) (単位千円)

区分	現在高
施設	30
利用権	1,302
計	1,332

借入金明細書 (昭和62.3.31現在) (単位千円)

借入先	現在高
一般会計	27,110
計	27,110

昭和62年度 水道事業予算のあらまし

収益的収入及び支出 (単位千円)

